

# *Multi-media adapted CBT (例題)*

自治医科大学医学部  
医学教育センター・センター長／教授  
内科学講座アレルギー膠原病学部門  
附属病院・卒後臨床研修センター  
岡崎 仁昭

医学系 CBT 症候 EMI 問題作成専門部会副部会長  
文部科学省医学教育モデルコアカリキュラム医学調査研究チーム班員  
日本内科学会：  
資格認定試験委員長  
セルフトレーニング問題作成世話人



# *Multi-media adapted CBT (例題)*

---

## 問題作成協力者

松山泰:自治医科大学医学教育センター

江口和男:自治医科大学卒後臨床研修センター

# *Multi-media adapted CBT (例題)*

## *出題方針*

- Coreな疾患を出題！*
- 症例ベースの長文連問形式！*
  - 技能の評価！*
  - 身体診察所見*  
(特に心雑音、肺性副雑音、神経学所見など  
*OSCEの代用になり得る)*

# *Multi-media adapted CBT (例題)*

## ○身体診察所見

神経学所見: *tremor*の鑑別、*Tinel*徴候、

徒手筋力テスト、歩行障害、*myotonia*

心雑音: 大動脈弁閉鎖不全症、僧帽弁狭窄症

肺性副雑音: *fine crackles*



---

# *Tremor*の鑑別診断

## 108H-13 羽ばたき振戦が起きやすい肢位

108H-13 肢位の写真を示す。

異常所見を見出すためにこの肢位が最も適しているのはどれか。

- a 肝性脳症
  - b ラクナ梗塞
  - c Parkinson病
  - d 甲状腺機能亢進症
  - e 良性発作性頭位眩暈症
- 正解 a



# 臨床問題 (*asterixis* 〈flapping tremor〉)

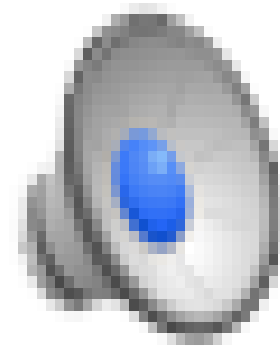
例題1 50歳の男性。手のふるえを主訴に来院した。

■患者の動画を示す。

この症候がみられるのはどれか。

正解 a

- a 肝性脳症
- b ラクナ梗塞
- c 本態性振戦
- d Parkinson病
- e 甲状腺機能亢進症



# 臨床問題 (pill-rolling tremor)

例題2 70歳の女性。手のふるえを主訴に来院した。

■患者の動画を示す。

この症候がみられるのはどれか。

正解 d

- a 肝性脳症
- b ラクナ梗塞
- c 本態性振戦
- d Parkinson病
- e 甲状腺機能亢進症





**例題3** 65歳の男性。動悸と労作時呼吸困難とを主訴に来院した。1か月前から動悸が出現し、2週前から労作時呼吸困難を認めるようになった。体温37.0℃。脈拍144/分、不整。血圧150/50 mmHg。呼吸数20/分。SpO<sub>2</sub> 96% (room air)。眼瞼結膜に貧血はない。心音は不整で、胸骨左縁第4肋間にII/VIの収縮期雑音を聴取する。呼吸音に異常はない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。下腿に浮腫は認めない。膝蓋腱反射は両側亢進している。

■両手の動画を示す。



最も注意して診察すべきなのはどれか。

- a 脳神経
- b 小脳
- c 筋
- d 甲状腺
- e 肝臓

正解 d



---

# 脾臓の診察、脾腫の鑑別診断

# 臨床実地長文問題形式(身体所見: Traube三角)

**例題4** 次の文を読み、1～5の問いに答えよ。

21歳の男性。持続する発熱と左季肋部痛とを主訴に来院した。

**現病歴:** 12日前に38℃台の発熱、咽頭痛および頸部リンパ節腫脹が出現し、かかりつけ医を受診した。抗菌薬の内服を開始したところ全身に発赤疹が出現し、同薬物を中止した。皮疹は軽快したが、発熱が持続し、昨日から持続的な左季肋部の鈍痛を認めるようになり、本日紹介された。

**既往歴・家族歴:** 特記すべきことはない。

**生活歴:** 海外渡航歴はない。職場の女性と2か月前から交際を始めた。

**現症:** 身長 170 cm、体重 60 kg。体温 38.6℃。脈拍 88/分、整。血圧 120/78 mmHg。皮疹は消失している。眼瞼結膜に貧血はなく、眼球結膜に黄染はない。咽頭は発赤している。両側側頸部に1 cmの弾性軟のリンパ節を数個触知し、圧痛を認める。心音と呼吸音とに異常はない。下腿に浮腫はない。

**検査所見:** 咽頭ぬぐい液の迅速検査は陰性である。

■ 診察動画を示す。

# 臨床実地長文問題形式(身体所見: Traube三角)



# 臨床実地長文問題形式

## (身体所見: Traube三角、脾腫の鑑別診断)

1 診察している臓器はどれか。

a 肺

b 胃

c 肝臓

d 脾臓

e 腎臓

正解 d

2 診察している臓器腫大の原因とならないのはどれか。

a 多発性骨髄腫

b Hodgkinリンパ腫

c 非Hodgkinリンパ腫

d 慢性骨髄性白血病

e 急性リンパ性白血病

正解 a



---

# 伝染性単核球症の診断

# 臨床実地長文問題形式(伝染性単核球症)

3 この時点で鑑別すべき疾患はどれか。2つ選べ。

a 結核

b 悪性リンパ種

c EBウイルス感染症

d サイトメガロウイルス感染症

e パルボウイルスB19感染症

正解 c、d

4 診断に最も有用な検査はどれか。

a 骨髄穿刺

b リンパ節生検

c フローサイトメトリ

d 免疫血清学検査

e 結核菌特異的全血インターフェロン $\gamma$ 遊離測定法(IGRA)

正解 d

## 臨床実地長文問題形式(身体所見:伝染性単核球症)

5 下線部で使用されたと予想される抗菌薬はどれか。

a キノロン系

b ペニシリン系

c マクロライド系

d カルバペネム系

e アミノグリコシド系

正解 b





---

# 関節リウマチの診断と治療

# 臨床実地長文問題形式(関節リウマチ)

**例題5** 次の文を読み、1~4の問いに答えよ。

58歳の女性。多関節痛を主訴に来院した。

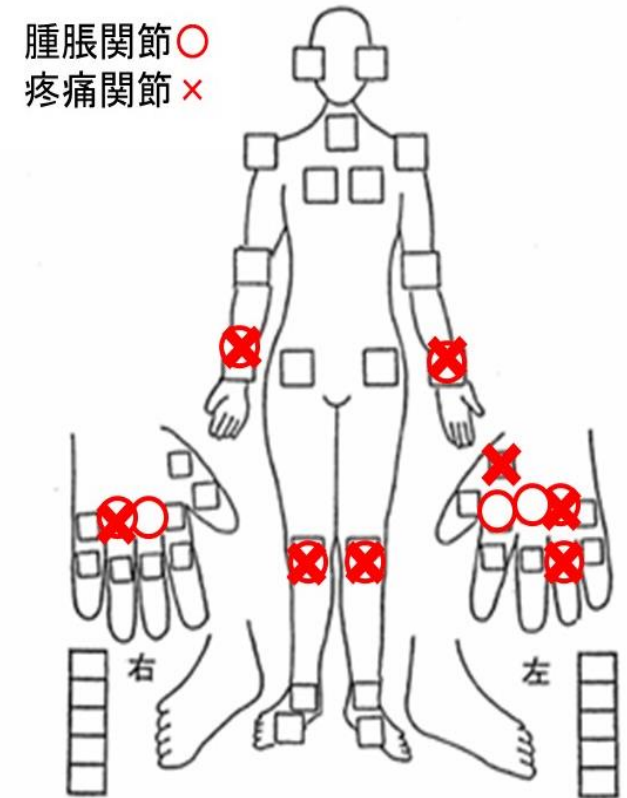
**現病歴:**8か月前から1時間ほどの朝のこわばりを自覚していた。7か月前から左第4指と両手関節とに疼痛があり、かかりつけ医を受診し、手指のエックス線写真に異常がないことから非ステロイド抗炎症薬(NSAIDs)で様子を見た。1か月前から両膝に疼痛が出現し、趣味のランニングはできなくなった。家事は支障なく行えるが、NSAIDsで疼痛コントロールが困難となり受診した。Raynaud症状はない。

**既往歴:**44歳から高血圧症。

**生活歴:**夫との2人暮らし。飲酒は機会飲酒。喫煙は20歳から10本/日を38年間。

**家族歴:**父親が肺癌のため60歳で死亡。

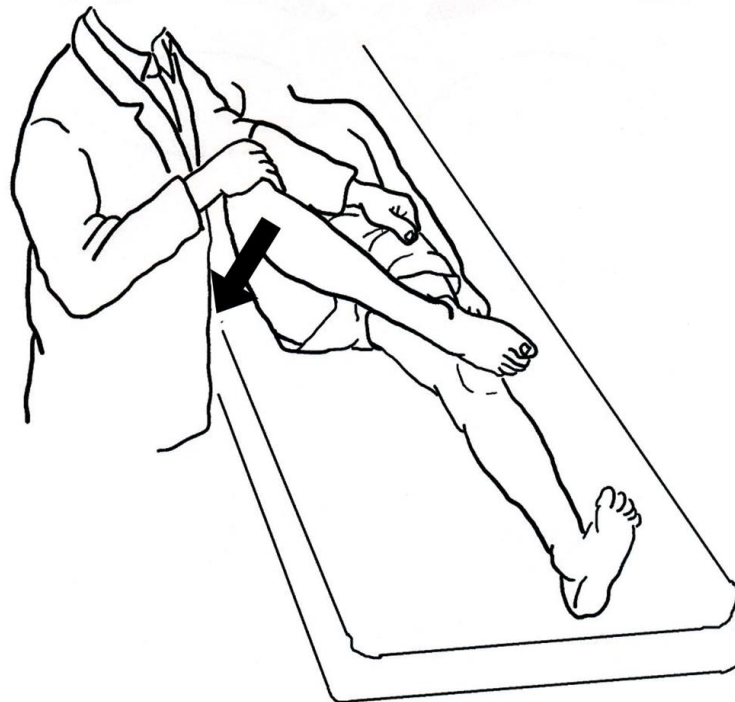
**現症:**意識は清明。身長160 cm、体重60 kg。体温36.9℃。脈拍84/分、整。血圧134/70 mmHg。呼吸数18/分。SpO<sub>2</sub> 97% (room air)。皮膚所見に異常はない。眼瞼結膜と眼球結膜とに異常はない。甲状腺の腫大はない。心音と呼吸音とに異常はない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。下腿に浮腫はない。関節所見図を示す。



# 108 I-26 疼痛誘発手技 (Patrickテスト): 身体所見

108 I-26 疼痛誘発手技を示す。  
診断する病変部位はどれか。

- a 腰椎
- b 股関節
- c 膝関節
- d 足関節
- e 恥骨結合



正解 b

矢印は検者が右手で力を入れる方向を示す。

# 臨床実地長文問題形式(関節リウマチ)

**検査所見:**尿所見;タンパク(-)、糖(-)、潜血(-)。血液所見;赤血球380万、Hb 11.8 g/dL、Ht 37%、白血球6,800(桿状核好中球3%、分葉核好中球67%、単球2%、リンパ球18%)、血小板48万。血液生化学所見;空腹時血糖 88 mg/dL、HbA1c 5.4%、総タンパク 7.9 g/dL、アルブミン3.5 g/dL、BUN 18 mg/dL、Cr 0.8 mg/dL、尿酸 5.5 mg/dL、AST 14 IU/L、ALT 15 IU/L、LD 276 IU/L(基準176~353)、ALP 270 IU/L(基準115~359)、CK 92 IU/L(基準60~196)。免疫血清学初見;CRP 6.5 mg/dL、HBs抗原陰性、HCV抗体陰性。結核菌特異的全血インターフェロン $\gamma$ 遊離測定法(IGRA)陰性。胸部エックス線写真に異常所見はない。左手のエックス線写真を示す。



# 臨床実地長文問題形式(関節リウマチ)

1 この疾患で最も特異度が高い免疫血清学検査項目はどれか。

a 抗核抗体

b 抗CCP抗体

c 抗Scl-70抗体

d 抗dsDNA抗体

e リウマトイド因子

正解 b

2 治療方針として適切なのはどれか。

a メトトレキサート

b 白血球除去療法

c 罹患関節の滑膜切除術

d 抗IL-6受容体抗体製剤

e 副腎皮質ステロイド大量療法

正解 a



---

# *Tinel* 徵候

# 臨床実地長文問題形式 (Tinel 徴候)

治療を開始した10年後に、右手掌のしびれを自覚するようになった。その他の神経学所見に異常はない。

■ 神経学診察の動画を示す。

3 診察しているのはどれか。

- a 尺骨神経
- b 撓骨神経
- c 正中神経
- d 総指屈筋腱
- e 総指伸筋腱

正解 c



## 臨床実地長文問題形式 (Tinel 徴候)

4 この患者で筋力が低下するのはどれか。

a 背側骨間筋

b 母指内転筋

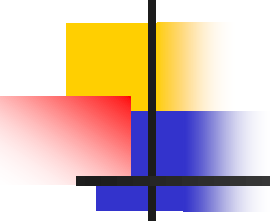
c 長母指伸筋

d 短母指外転筋

e 長母指外転筋

正解 d





---

心雑音の聴取、ドプラ心エコー  
大動脈弁閉鎖不全症の診断

# 臨床実地長文問題形式(大動脈弁閉鎖不全症)

例題6 次の文を読み、1～3の問いに答えよ。

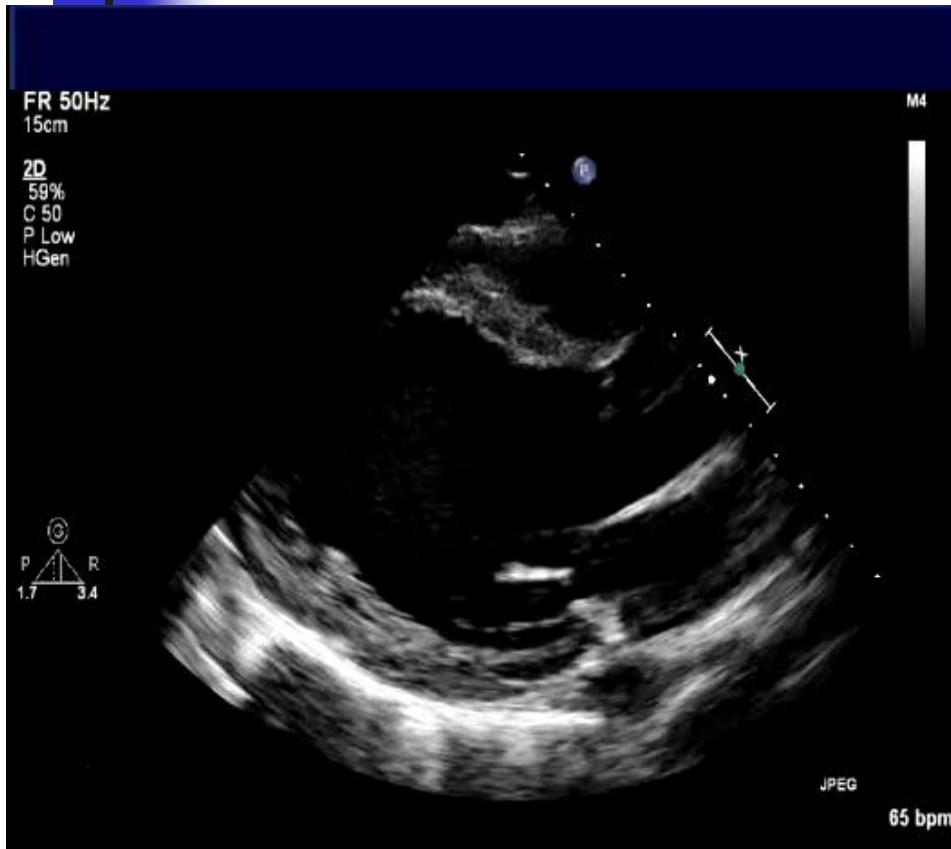
38歳の男性。労作時呼吸困難と下腿浮腫とを主訴に来院した。25歳ころから高血圧と心雑音とを指摘されていた。3年前から山道や階段を上がるときに軽度の呼吸困難を感じ、立ち止まるようになった。2年前から食後や重いものを持った際に胸部の重苦しい感じが出現した。3か月前から平地歩行でも呼吸困難を自覚するようになり、両下腿に浮腫が出現している。既往歴と家族歴とに特記すべきことはない。喫煙歴と飲酒歴とはない。

■患者の心臓聴診所見を音声で示す。



# 臨床実地長文問題形式(大動脈弁閉鎖不全症)

■患者の心エコーを動画で示す。





1 聴取される心雑音はどれか。

a 連続性雑音

b 心膜摩擦音

c 収縮期クリック音

d 拡張期ランブル

e to-and-fro 雑音

正解 e

2 この疾患で心雑音を聴取しやすくするための手法はどれか。

a 過換気にさせる。

b 下肢を挙上させる。

c 右側臥位にさせる。

d 頸動脈洞マッサージを行う。

e 座位で上半身を前傾させる。

正解 e

3 考えられるのはどれか。

a 急性心膜炎

b 大動脈弁狭窄症

c 大動脈弁閉鎖不全症

d 僧帽弁狭窄症

e 僧帽弁逸脱症候群

正解 c



---

心雑音の聴取、ドプラ心エコー  
心房細動を伴う僧帽弁狭窄症の診断と治療

# 臨床実地長文問題形式(僧帽弁狭窄症)

例題7 次の文を読み、1～6の問いに答えよ。

65歳の男性。労作時呼吸困難と下腿浮腫とを主訴に入院した。2か月前から重い物を持ったり、坂道を上るときに喘息様の呼吸困難が出現するようになった。20年前に気管支喘息発作の診断で入院した際に心雑音を指摘されていた。

■患者の心臓聴診所見を音声で示す。



入院時の胸部エックス線写真、  
12誘導心電図および

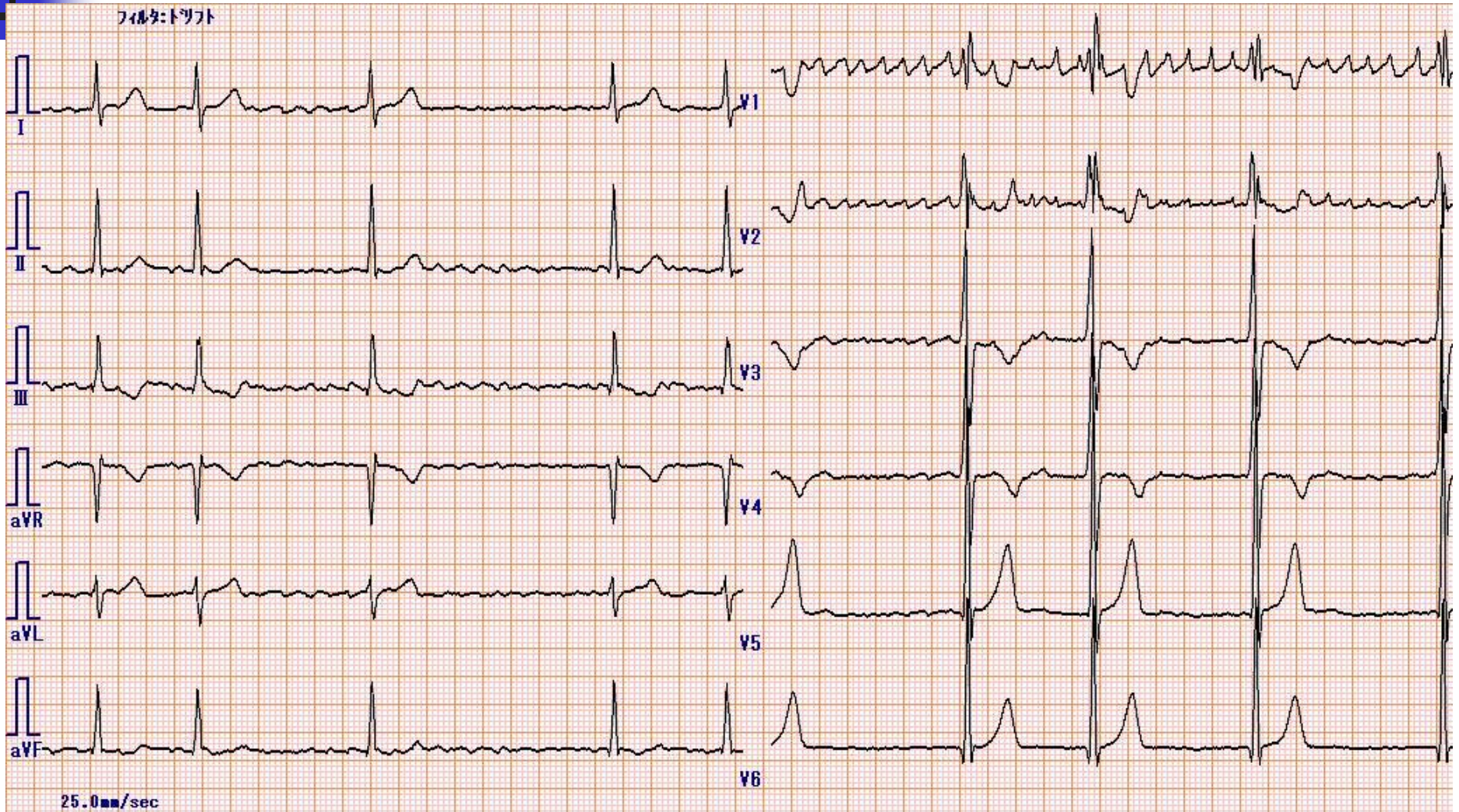
■心エコー(動画)を示す。





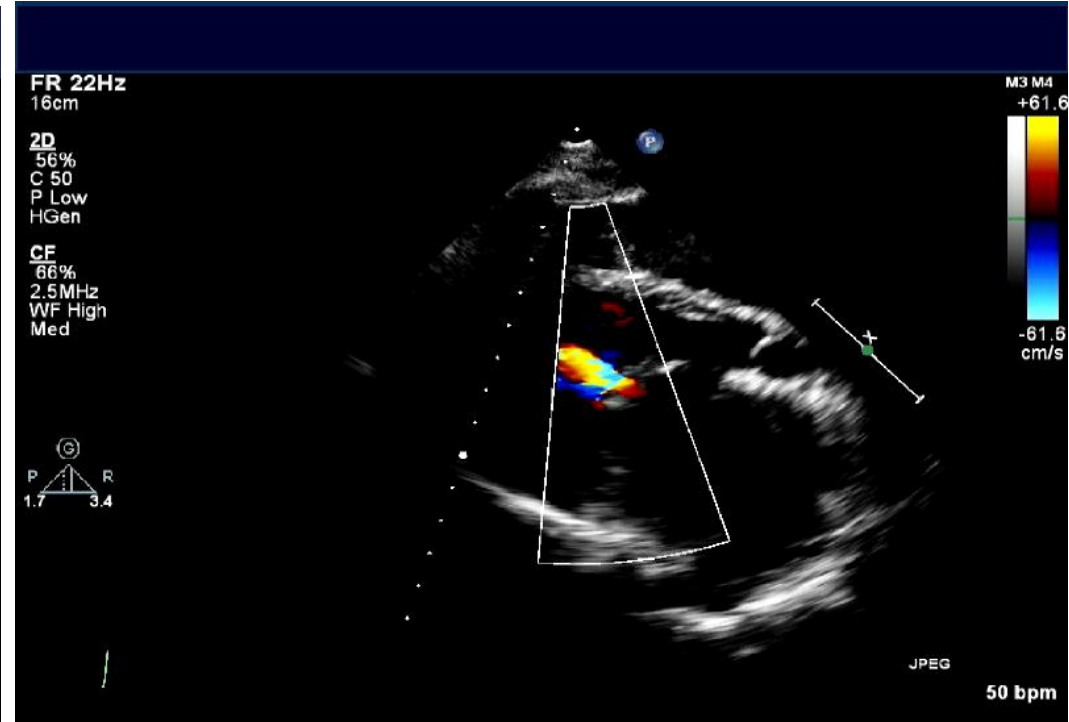
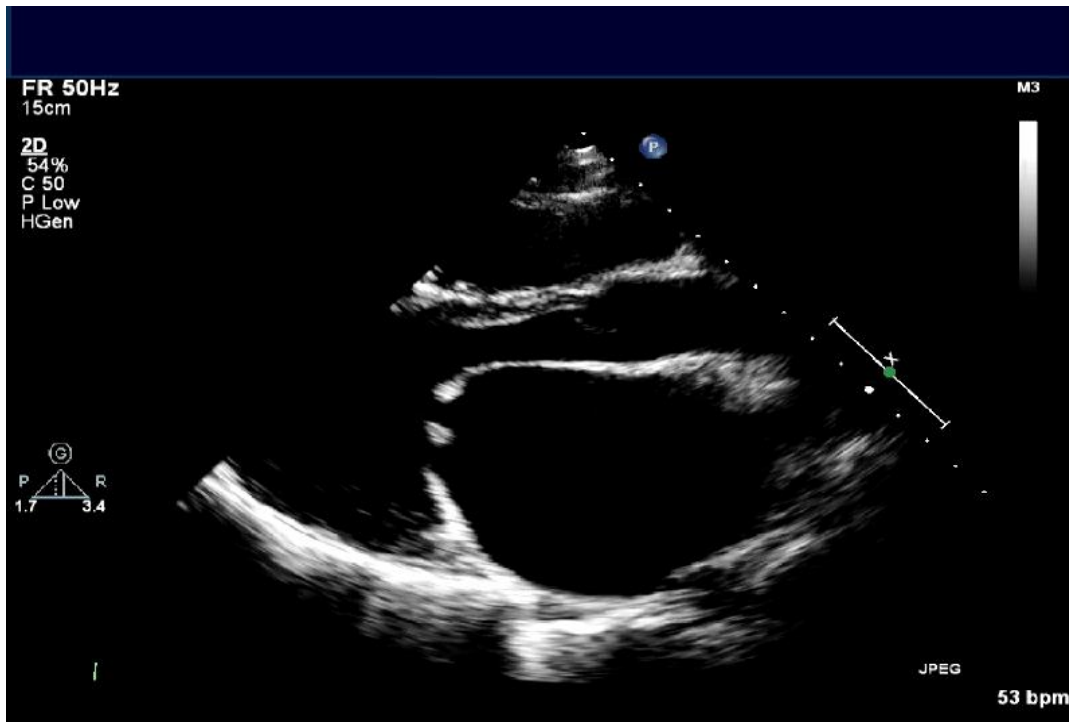
# 臨床実地長文問題形式(僧帽弁狭窄症)

## 入院時の12誘導心電図



# 臨床実地長文問題形式(僧帽弁狭窄症)

## ■心エコー長軸像(動画)





1 聴取される心雑音はどれか。

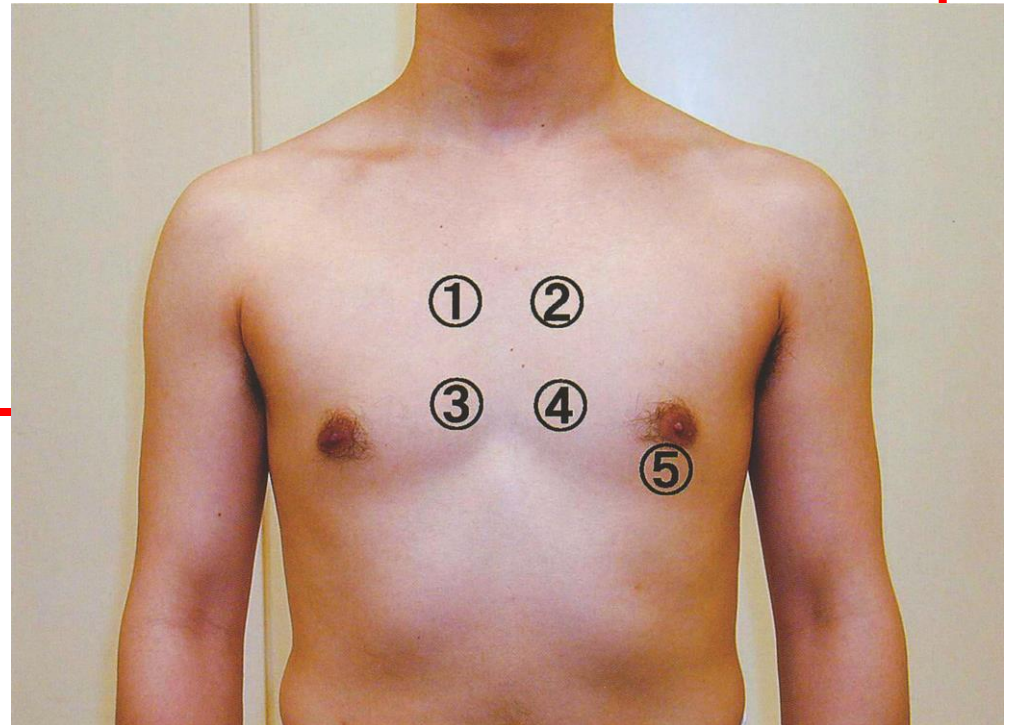
- a 連続性雑音
- b 心膜摩擦音
- c 収縮期クリック音
- d 拡張期ランブル
- e to-and-fro 雑音

正解 d

2 この心雑音が最も聴取されやすい部位はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④
- e ⑤

正解 e



## 臨床実地長文問題形式(心房細動)

3 12誘導心電図でみられる所見はどれか。

- a 右軸偏位
- b 左軸偏位
- c 心房細動
- d 心房粗動
- e 心室期外収縮

正解 c

4 この心電図異常に対する治療薬として適切なのはどれか。

- a アスピリン
- b ワルファリン
- c クロピドグレル
- d シロスタゾール
- e 第Xa因子阻害薬

正解 b

# 臨床実地長文問題形式(僧帽弁狭窄症)

5 考えられるのはどれか。

- a 急性心膜炎
- b 大動脈弁狭窄症
- c 大動脈弁閉鎖不全症
- d 僧帽弁狭窄症
- e 僧帽弁逸脱症候群

正解 d

6 治療法として適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 植込み型除細動器〈ICD〉
- b 心膜切除術
- c 僧帽弁形成術
- d 僧帽弁置換術
- e PTMC〈経皮経静脈的僧帽弁交連切開術〉

正解 c、e



---

# 肺性副雑音の聴取

# 臨床実地長文問題形式(間質性肺炎)

例題8 次の文を読み、1～7の問いに答えよ。

52歳の男性. 皮疹と筋力低下とを主訴に来院した。

**現病歴:**3か月前から全身倦怠感があり、立ち上がりや階段の昇り降りの際に力が入りにくいと感じていた。1か月前から写真に示す皮疹を認めるようになった。1週前から四肢に力が入りにくくなり受診した。昨年の人間ドックで便潜血検査(免疫法)が陽性であったが、その後医療機関を受診していない。

**既往歴:**特記すべきことはない。

**生活歴:**機会飲酒。喫煙歴はない。

**現 症:**身長 170 cm、体重 55 kg。体温 36.5℃。脈拍 72/分、整。血圧140/88 mmHg。呼吸数 18/分。眼瞼結膜に貧血を認める。眼球結膜に黄染はない。甲状腺に異常はない。頸部リンパ節は触知しない。心音に異常はない。■両側胸部下背側での聴取所見を示す。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。四肢に浮腫を認めない。

1 聴取される肺性副雑音はどれか。(聴診所見)



- a coarse crackles
- b fine crackles
- c stridor
- d rhonchi
- e wheezes

正解 b

# 臨床実地長文問題形式(間質性肺炎)

2 この患者の胸部エックス線写真はどれか。(胸部エックス線写真)

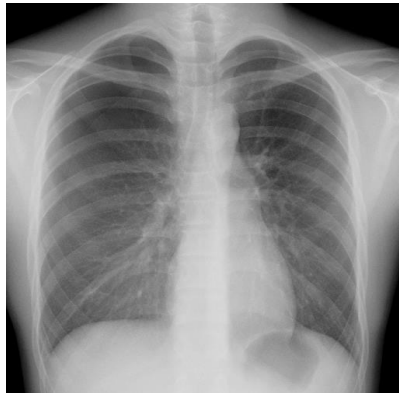
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④
- e ⑤

正解 d

①



②



③



④



⑤





---

# 間質性肺炎を伴う皮膚筋炎の診断

# 臨床実地長文問題形式(皮膚筋炎)

顔面と右手の写真を示す。



3 この患者でみられる所見はどれか。2つ選べ。

- a Discoid疹
- b Gottron徴候
- c Heliotrope疹
- d Hutchinson徴候
- e Salmon pink疹

正解 b、c





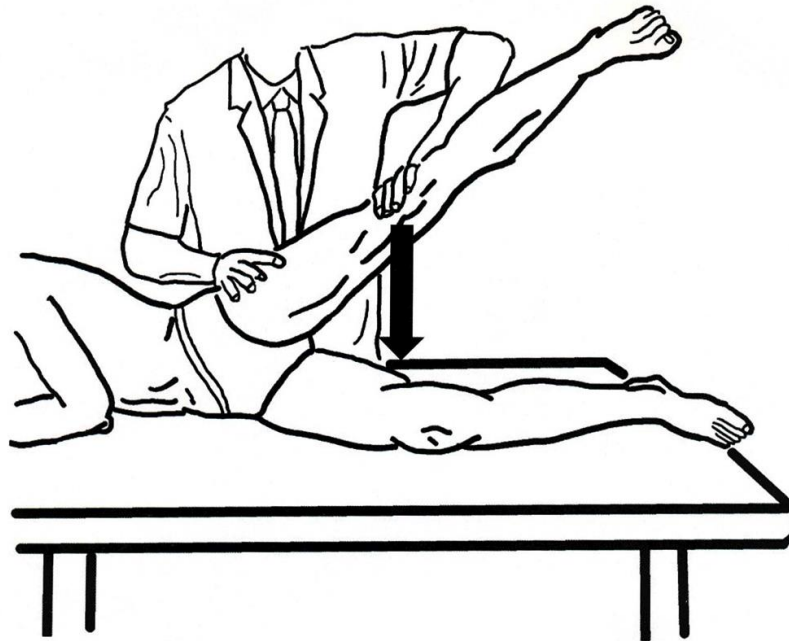
---

# 徒手筋力テスト

# 108 C-15 徒手筋力テスト:股関節を外転させる筋肉

108C-15 徒手筋力テストの図を別に示す。  
主にどの筋肉の筋力を測定しているか。

- a 中殿筋
- b 腸腰筋
- c 長内転筋
- d 大腿四頭筋
- e 大腿二頭筋



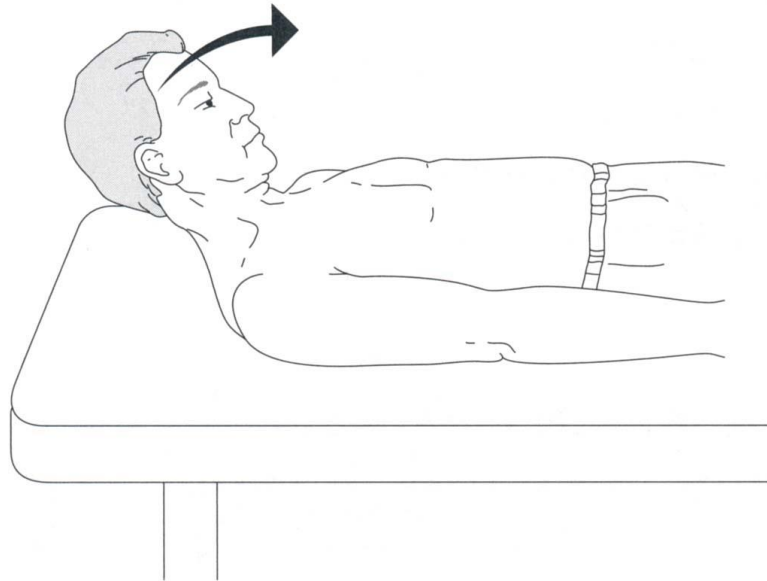
正解 a

矢印は検者が左手で力を入れる方向を示す。

## 110 H-9 徒手筋力テスト

110H-9 徒手筋力テストの図を示す。矢印の方向に頭部を動かしている。主に働く筋はどれか。

- a 三角筋
- b 僧帽筋
- c 大胸筋
- d 肩甲挙筋
- e 胸鎖乳突筋



正解 e

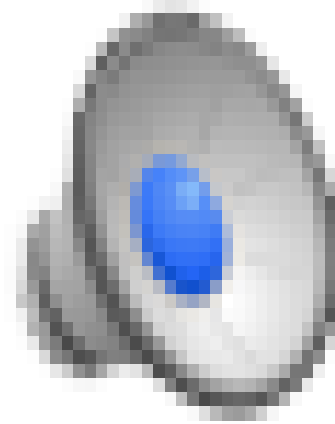
# 臨床実地長文問題形式(MMT)

## ■徒手筋力テスト(MMT)の動画を示す。

4 評価している筋肉はどれか。

正解 b

- a 僧帽筋
- b 三角筋
- c 大胸筋
- d 上腕二頭筋
- e 上腕三頭筋



5 MMTで右と左の段階で正しいのどれか。

	右	左
a	1	0
b	2	1
c	3	2
d	4	3
e	5	4

正解 d

# 臨床実地長文問題形式(皮膚筋炎)

検査所見:尿検査;タンパク(-)、糖(-)、潜血 1+。便潜血陽性。血液所見;赤血球350万、Hb 8.8 g/dL、Ht 28%、白血球 5,200、血小板 28万。血液生化学所見;空腹時血糖 90 mg/dL、総タンパク 6.2 g/dL、アルブミン 3.1 g/dL、BUN 16 mg/dL、Cr 0.8 mg/dL、AST 150 IU/L、ALT 40 IU/L、LD 588 IU/L(基準 115~245)、CK 4,650 IU/L(基準47~200)、Na 135 mEq/L、K 4.4 mEq/L、Cl 103 mEq/L。免疫血清学所見;CRP 1.1 mg/dL、CH<sub>50</sub> 38 U/mL(基準30~40)、抗核抗体陰性、リウマトイド因子陰性、KL-6 810 IU/mL(基準 500未満)。

6 最も考えられるのはどれか。

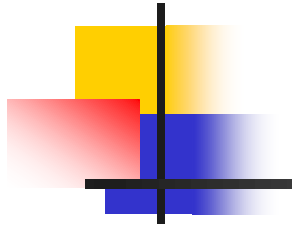
- a 皮膚筋炎
- b 全身性強皮症
- c 混合性結合組織病
- d リウマチ性多発筋痛症
- e 全身性エリテマトーデス

正解 a

7 この疾患で最も注意する合併症はどれか。

- a 悪性腫瘍
- b 悪性高血症
- c 肺動脈性肺高血圧
- d 可逆性後頭葉白質脳症
- e 巨細胞性動脈炎(側頭動脈炎)

正解 a



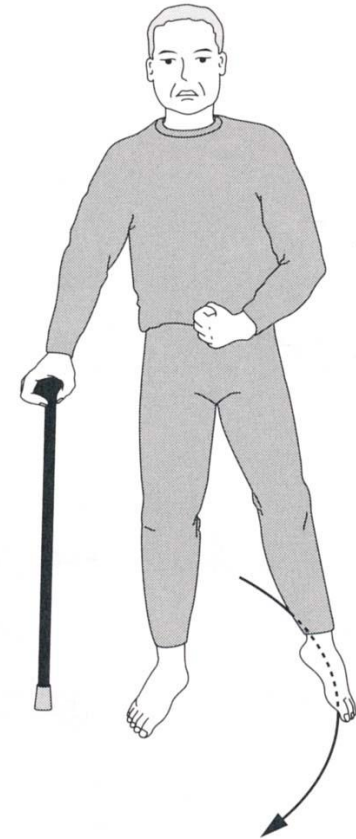
# 歩行障害の鑑別診断、*Parkinson*病の診断

## 110 H-2 脳卒中後の片麻痺患者

110H-2 歩行時の姿位を図に示す。  
この患者の左下肢に予想されるのはどれか。

- a 筋緊張低下
- b 腱反射減弱
- c 足クローヌス
- d 線維束性収縮
- e アステリキシス

正解 c



## C-21 歩行障害の鑑別診断:動画で出題するべき

111C-21 43歳の女性。歩行障害を主訴に来院した。小児期から走るのが遅く、すり足で歩いていたが、日常生活に支障はなかった。40歳ごろから階段を降りるのが難しくなってきたため来院した。患者の歩行姿勢の図を示す。

障害されている部位はどれか。

- a 頭頂葉
- b 小脳
- c 脊髄側索
- d 末梢神経
- e 神経筋接合部



正答率 26.7%

正解 c

平成29年3月17日に「問題としては適切であるが、必修問題としては妥当ではないため」を理由として「正解した受験生については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する」と公表された。



# 臨床実地長文問題形式 (Parkinson病)

例題9 次の文を読み、1～5の問いに答えよ。

72歳の女性。歩行障害を主訴に来院した。

**現病歴:**3年前から料理のときに右手で炒めものをかき混ぜづらく、歩行時に右足を引きずると感じていたが、症状の進行は自覚しなかった。半年前、物を持って平地を歩いているときに小走りになって転倒した。そのころから徐々に右足の引きずりが強くなっているように感じている。10年前から便秘を自覚している。3年前に夫と死別してから抑うつ傾向となり、選択的セロトニン再取り込み阻害薬(SSRI)を服用している。半年前に娘と旅行をしたとき、睡眠中に寝言を言いながら手足をバタバタさせていたという。

**現 症:**表情は乏しいが、眼球運動は正常で眼振は認めない。四肢の腱反射に異常はなく、Babinski徴候は認めない。

■歩行の動画を示す。

ドパミントランスポーターSPECTを示す。

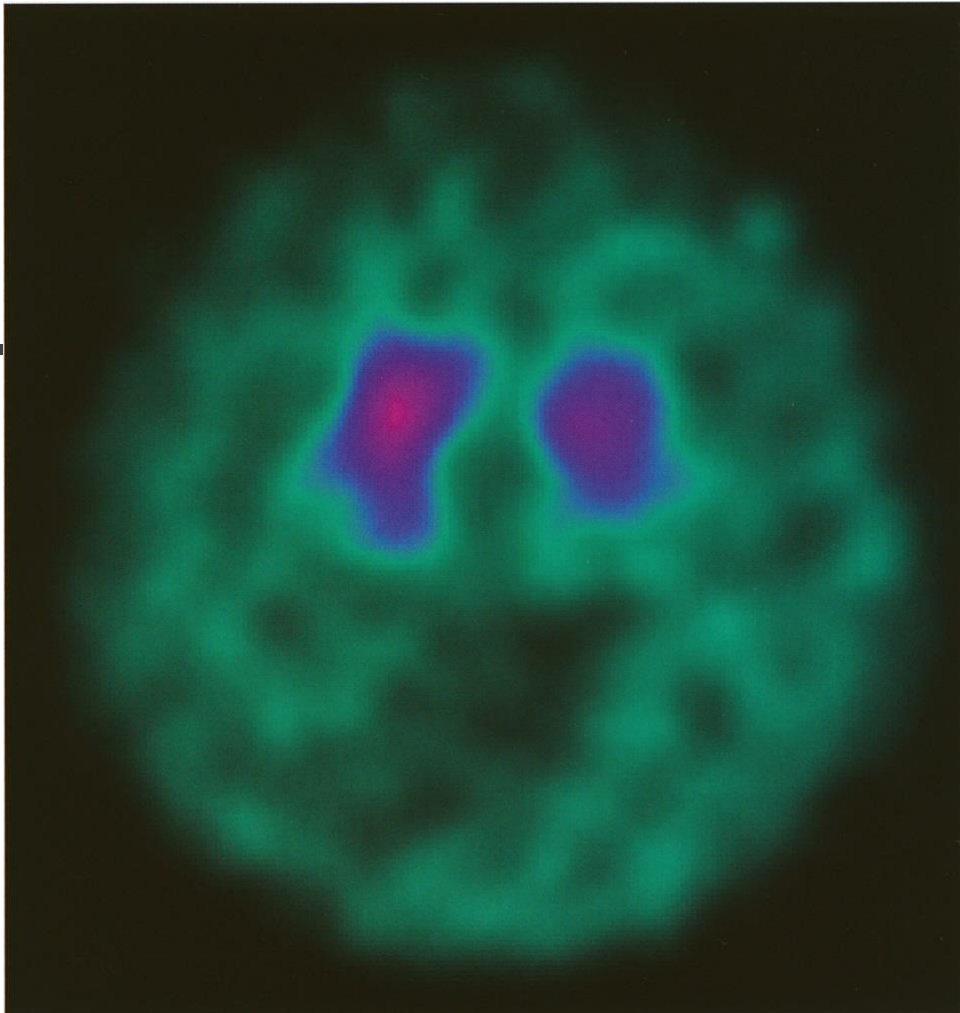
# 臨床実地長文問題形式 (Parkinson病)

■歩行の動画を示す。



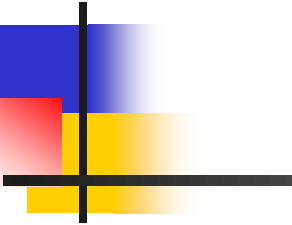
# 臨床実地長文問題形式 (Parkinson病)

ドパミントランスポーターSPECT



ページングシステム  
での出題は可能か？

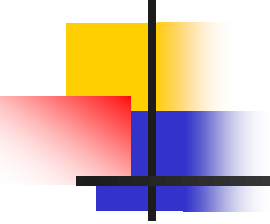
# 臨床実地長文問題形式 (Parkinson病)

- 
- 1 この患者でみられる歩行障害はどれか。
- a 痙性歩行
  - b 小刻み歩行
  - c 失調性歩行
  - d 動揺性歩行
  - e 間欠性跛行

正解 b

- 2 最も考えられるのはどれか。
- a Parkinson病
  - b 正常圧水頭症
  - c 多系統萎縮症
  - d 進行性核上性麻痺
  - e 薬剤性Parkinson症候群

正解 a



---

*REM睡眠行動障害の診断と治療*  
*(動画での出題が望ましい)*

# 臨床実地長文問題形式 (Parkinson病)

3 この疾患で障害されやすい脳神経はどれか。

a 嗅神経

b 視神経

c 動眼神経

d 三叉神経

e 顔面神経

正解 a

4 下線部の症状で考えられるのはどれか。

a カタプレキシー

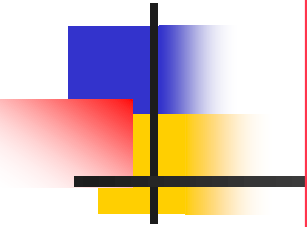
b REM睡眠行動障害

c むずむず脚症候群

d 概日リズム睡眠障害

e 睡眠相前進症候群

正解 b



## 臨床実地長文問題形式(Parkinson病)

5 下線部の症状に有効な薬物どれか。

a クロナゼパム

b ガバペンチン

c プレガバリン

d ハロペリドール

e プラミペキソール〈非麦角系ドパミン作動薬〉 正解 a



---

# *Grip Myotonia*



# 臨床実地長文問題形式(筋強直性ジストロフィー)

例題10 次の文を読み、1～3の問いに答えよ。

42歳の男性。1年前から徐々に箸を持つのが下手になったことを主訴に来院した。身長 162 cm、体重 68 kg。体温 36.2℃。脈拍80/分、整。血圧132/70 mmHg。呼吸数 16/分。上下肢遠位筋に徒手筋力テストで4〈good〉の筋力低下があり、腱反射は低下している。感覚障害と小脳失調とを認めない。神経症状の日内変動はない。尿所見:タンパク(―)、糖1+、潜血(―)。血液所見:赤血球 430万、Hb 12.1 g/dL、Ht 40%、白血球4,800、血小板37万。血液生化学所見:総タンパク 7.0 g/dL、アルブミン 3.2 g/dL、Cr 1.0 mg/dL、AST 28 IU/L、ALT 29 IU/L、LD 352 IU/L(基準176～353)、CK 288 IU/L(基準40～200)、ALP 304 IU/L(基準115～359)、Na 138 mEq/L、K 4.0 mEq/L、Cl 104 mEq/L、Ca 8.9 mg/dL。

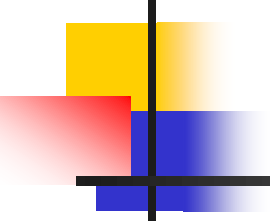
■患者の手を診察した動画に示す。

1 動画にみられる所見はどれか。

- a Athetosis
- b Clonus
- c Fasciculation
- d Myoclonus
- e Myotonia

正解 e





---

# 筋強直性ジストロフィーの診断

# 臨床実地長文問題形式(筋強直性ジストロフィー)

2 この患者にみられる可能性の高い身体診察所見はどれか。

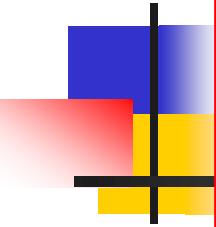
- a 仮面様顔貌
- b 感音性難聴
- c 前頭部禿頭
- d 下方眼球運動制限
- e 上眼瞼の紫紅色斑

正解 c

3 この疾患に合併するのはどれか。

- a 胸腺腫
- b 糖尿病
- c 赤芽球癆
- d 間質性肺炎
- e 肺小細胞癌

正解 b



# Multi-media adapted CBT (例題)

○医療面接: OSCE、PCC-OSCEの動画を撮影  
面接時の態度評価など

## ○身体診察(動画、音声)

神経学所見: 意識障害 (JCS、GCS)、  
不随意運動 (舞踏運動、ミオクローヌス、バリスム、企図振戦など)  
歩行障害 (痙性歩行、失調性歩行、動揺性歩行など)  
構音障害 (小脳性など)

心雑音: 大動脈弁狭窄症、僧帽弁逸脱症候群、僧帽弁閉鎖不全症、  
心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症、急性心膜炎  
肺性副雑音: coarse crackles、wheezes、rhonchiなど

## ○検査(動画、音声)

ドップラ心エコー、腹部超音波 (胆石と胆嚢ポリープの鑑別など)、  
針筋電図の急降下爆撃音など